

令和4年6月29日

## 佐賀大学医学部附属病院をご利用の皆様、地域医療関係者の皆様

この度、本院の病棟で職員17名が新型コロナウイルスに感染し、院内クラスターとなったことが令和4年6月28日に判明しました。

具体的には、以下の対応を行いました。

新型コロナウイルス感染症と判明した職員と同じ病棟に勤務する医師、看護師、その他の医療従事者等、接触があったと思われる全ての者を特定し、速やかにPCR検査を実施しております。

また、検査完了後に新たに感冒様症状を訴えた患者様、職員はおりません。

さらに新たな感染拡大を防ぐために、当該病棟においては7月1日より当面の間、診療を縮小致します。

また、当院の職員には以下の項目を徹底するよう改めて周知徹底を図っております。

- 体調管理を徹底して行うこと。
- 感冒様症状が出現した場合には、診療科長、部門長に報告すること。
- 報告を受けた診療科長、部門長は感染制御部に連絡すること。

皆様にご心配とご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び致します。

今後の対応として、患者様へ適切な医療を安全に提供することを第一に考え、会食などのリスクの高い行動を自粛し、医療従事者として引き続き自覚ある行動を取るよう、職員に周知徹底して参ります。

佐賀大学医学部附属病院長

野口 満